

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和7年10月20日
タイトル	西鶴山公民館講座 吉井川の堰と用水路、その役割と歴史
水土里レポーター名	水土里ネット吉井川下流 前田明彦

管内の備前市 西鶴山公民館 館長より、吉井川の歴史について講座の依頼を受け、令和7年7月26日に講座を開催しました。

講座内容については、まず昭和45年から始まった1期目の吉井川農業水利事業について当時の記録映像をみて石積の堰が現在の頭首工に変わる過程などを鑑賞しました。



その後、現在工事中の吉井川農業水利事業 2期目の工事について国の担当者より説明をしていただき、当改良区は、現在の管理方法や発電所などの役割について説明しました。



国営かんがい排水事業「吉井川地区」

- ◆吉井川下流土地改良区
- ◆農林水産省中国四国農政局
吉井川農業水利事業所

令和7年7月26日

1/34

5. 施設の維持管理

新田原井堰発電所発電事業

〔発電方式・規模〕

水車形式	横軸カプラン水車
有効落差	最大 7.33m
使用水量	最大 31.30m ³ /s
出力	最大1,990kW
送受電電圧	6,600V
発電電力量	年間 10,780MWh
設備利用率	61.8%

29/34

講座には当改良区の理事も参加しており、参加者の皆さんは非常に熱心に耳を傾けてくださいました。館長が遮るほど質問が多く寄せられ、活発な意見交換の場となりました。